



令和4年3月25日(金)
国土交通省 関東地方整備局
甲府河川国道事務所

記者発表資料

富士川水系の河川水等に係る調査結果（1月実施分）について

甲府河川国道事務所では、山梨県・静岡県が協働で実施する河川水に係る調査に合わせ、両県の調査に連携協力するため1月27日（木）に水質等の調査を実施しました。その調査結果等について公表いたします。

1. 調査結果の概要

○アクリルアミドモノマー

- ・水質：6地点で検出されましたが、人や水生生物への影響を考慮した各種指標（4. 指標等）を下回っていました。
- ・底質：全ての調査地点で定量下限値未満でした。

○SS（濁り）：全ての調査地点で富士川の環境基準値を下回っていました。

2. 調査結果一覧 : 別添1参照

3. 調査位置について : 別添2参照

4. 指標等 : 別添3参照

5. 今後の予定

富士川の県境より下流域において、アクリルアミドモノマーの濃度変化があったことから、同流域での水質調査を継続する予定としています。

発表記者クラブ

山梨県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 電話 055-252-5491(代表)
副所長(河川) 阿部 昌幸 (あべ まさゆき)
調査第一課長 山口 誠 (やまぐち まこと)

【結果一覧】

河川	地点	実施者	水質		底質
			アクリルアミド モノマー (ng/L)	SS※ (濁り) (mg/L)	アクリルアミド モノマー (ng/g-dry)
雨畑川	①雨畑川流末	山梨県	<4.5	<5	<0.15
早川	②中之島橋		<4.5	<2	<0.15
	③栄代橋		—	<4	—
	④弁天橋		—	<4	—
	⑤早川橋		<4.5	<12	<0.15
富士川	⑥飯富橋	国	<4.5	<5	<0.15
	⑦富山橋付近		3.9	<8	<0.1
	⑧身延橋	山梨県	<4.5	<4	—
	⑨南部橋付近	国	3.5	<3	<0.1
	⑩十島堰付近		—	—	<0.1
	⑪県境	山梨県	<4.5	<1	—
	⑫内房橋付近	静岡県	<7.0	<3	<0.2
	⑬富原橋		41	<1	<0.2
	⑭富士川楽座付近		38	<5	<0.2
⑮富士川橋	35		<1	<0.2	
⑯河口付近	国	—	—	<0.1	
稲子川	⑰稲子川橋	静岡県	<7.0	<1	<0.2
稲瀬川	⑱内房川合流後		8.1	<1	<0.2
芝川	⑲芝富橋		<7.0	<1	<0.2
地点数			15	17	15

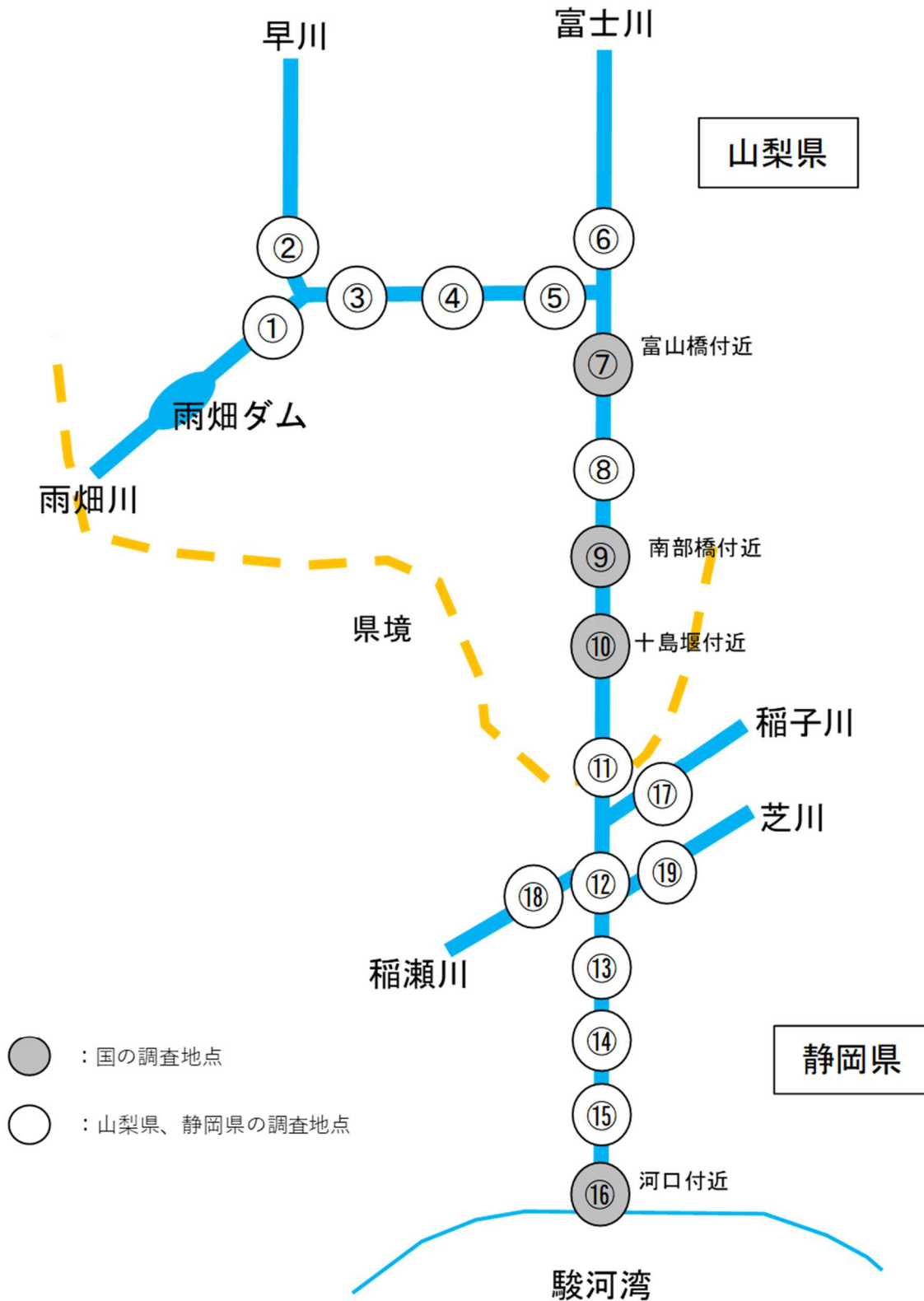
※ 富士川的环境基準値は 25mg/L

注1 “—” は実施無し。

注2 アクリルアミドモノマーの定量下限値は分析機器等の違いにより、異なります。

調査地点

(参考) 富士川水系の河川水に係る調査地点



【指標等】

- ア WHOの飲料水水質ガイドライン値 500ng/L
 イ 水道水の要検討項目※の目標値 500ng/L_厚生労働省
 ※毒性評価が定まらないことや、浄水中の存在量が不明等の理由から水質基準項目、水質管理目標設定項目に分類できない項目
 ウ 水生生物への影響が表れないと予測される濃度※41,000ng/L_環境省
 ※魚類の急性毒性値より求めた、予測無影響濃度_「化学物質の環境リスク初期評価」(環境省)平成14年

エ 「平成19年度化学物質環境実態調査」(環境省)を元に山梨県作成

項目	検出数/地点	最大値	最低値	定量(検出)下限
水質 (ng/L)	13/48	49	nd	5.9 (2.3)
底質 (ng/g-dry)	40/64	1.9	nd	0.2 (0.079)

注：ndは検出下限値未満

オ 食品中の含有量_平成16～28年度農林水産省調査を元に山梨県作成

食品名	試料数	中央値 (ng/g)	最大値 (ng/g)
ポテトスナック	120	610	4,600
インスタントコーヒー	60	560	870
炒め野菜	180	23	620

注：日本では、食品に含まれているアクリルアミドモノマーについて、食品衛生法等に基づく基準値等は設けられていない。

※インスタントコーヒー(中央値)を1杯分(2g)に換算すると0.00000112g(=1,120ng)

カ 単位について

- ・1mg (ミリグラム) =1000分の1グラム
- ・1 μ g (マイクログラム) =100万分の1グラム
- ・1ng (ナノグラム) =10億分の1グラム